※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　（日本文教出版）						
副教材等	高校生の美術２　授業資料　（日本文教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画や彫刻の分野では様々な表現活動を体験し、よさを味わい関心を深めながら、計画的に制作を進めていきましょう。
・デザインの分野では目的や機能を考えながら表現活動を充実させていきましょう。
・鑑賞する授業では、表現形式の特徴や形体・色について考え、作者の心情や表現の意図を読み取って自分の表現につなげていきましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、表現を工夫したり深く味わったりできる。
(１)対象や事象を促える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫している。
(２)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練っている。美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。
(３)美術や美術文化と豊かに関わり主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じで表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	美術とは	・オリエンテーション教科書を見ながら授業容について知る。 ・イメージについての小課題	a:美術について造形の要素の働きの理解を深めている。 b:美術の働きなどのついて考え、造形的なよさや美しさを感じ取り、表現している。 c:美術や美術の文化に関心を持ち、主体的に活動に取り組もうとしている。	小課題	小課題	振り返りプリント活動の様子
	人物クロッキー	・モデルとなる人物をクロッキーする（3ポーズ） ・画材を変えて描く。 (色鉛筆、木炭、水彩)	a:人物クロッキーの技法や造形的な表現について理解を深めている。 クロッキーの表現方法を身に着け、意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表している。 b:線の動きや画材の特性を生かし、造形的なよさや美しさを感じ取り、表現している。 美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 c:主体的に美術の幅広い造形活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント
	静物画デッサン	・デッサンの作品を鑑賞する。 ・3点モチーフを選び構図を決める。画用紙に描く。	a:デッサンの歴史や、表現方法について理解を深めている。 デッサンの技法を身に着け、意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表している。 b:モチーフの質感や立体感を鉛筆の技法を使いながら、造形的なよさや美しさを感じ取り、表現している。 美術や文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 c:主体的に美術の幅広い造形活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

	音のイメージ	・コラージュ作品の制作 色々な道具や材料を使って素材作りをする。 貼り付け作業。 鑑賞。	a:コラージュ技法の成り立ちや表現方法について理解している。 コラージュに必要な技能を身に着け、意図に応じて表現方法を創意工夫している。 b:コラージュ技法にみられる表現方法や造形的なよさや美しさを感じ取り、表現している。 美術や文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 c: 主体的に美術の幅広い造形活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント
後期	煮干しマグネット	・煮干しのスケッチ ・バルサ材に形を描く。 ・彫刻刀で彫る。 ・磨き作業。	a:木彫作品の造形美や歴史について理解を深めている。 木彫表現の技法を身に着け、意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表している。 b:木彫作品にみられる造形的なよさや美しさを感じ取り、表現している。 c:木彫の表現方法に関心を持ち、主体的に美術の幅広い造形活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント
	自由制作課題	・課題設定とテーマを決める。 ・計画表を制作 ・アイディアスケッチの制作。 ・小下絵制作。 ・B1パネルに水張り。 ・本画制作。 ・作品鑑賞、合評。	a:美術の歴史や美術文化の表現方法について理解を深めている。 制作意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表している。 b:作品の表現の意図を考え、造形的なよさや美しさを感じ取り、表現している。 c:主体的に美術の幅広い造形活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント 合評プリント 活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度